

IPレジストリシステム変更について

(社) 日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部 近藤 慎一

目次

1. スリムな社団法人となるために
2. 現状の問題点と課題
3. 検討しているシステムの概要
4. 今後のスケジュール

スリムな社団法人になるために³

2000.12.22のJPNIC総会にてご報告した内容

1. JPNICからJPRSへドメイン名事業を移管することと併せ、JPNICの収入構造の見直しを行う
2. この見直しは、社団法人のスリム化・健全化を念頭に、新規ドメイン名数の変動に依存しない社団法人の財政運営を目指すものである
3. IPアドレス事業は、IPアドレスの登録料（割り当て手数料）およびIPアドレス維持料でその支出を賄う
 1. IPアドレス維持料導入
 2. 割り当て手数料の値下げ

上記のようにご報告したとおり、スリムな社団法人としたいと考えている

現状の問題点と課題

1. **IP指定事業者の各種申請業務において、申請フォーム作成等に時間がかかり、IP指定事業者の業務負担が大きい**
 - ✓ IP指定事業者の業務をサポートするシステムが必要
2. **JPNICの内部業務フローにおいてシステムがマッチしていない部分がある**
 - ✓ 業務フローにマッチしたシステムへの改善が必要
3. **IP/ドメインの共用システムであるため、責任範囲の独立性の確保が難しい。トラブルの影響範囲も大きい。維持・運用コストも大きい**
 - ✓ データベースシステムの改善/分割が必要

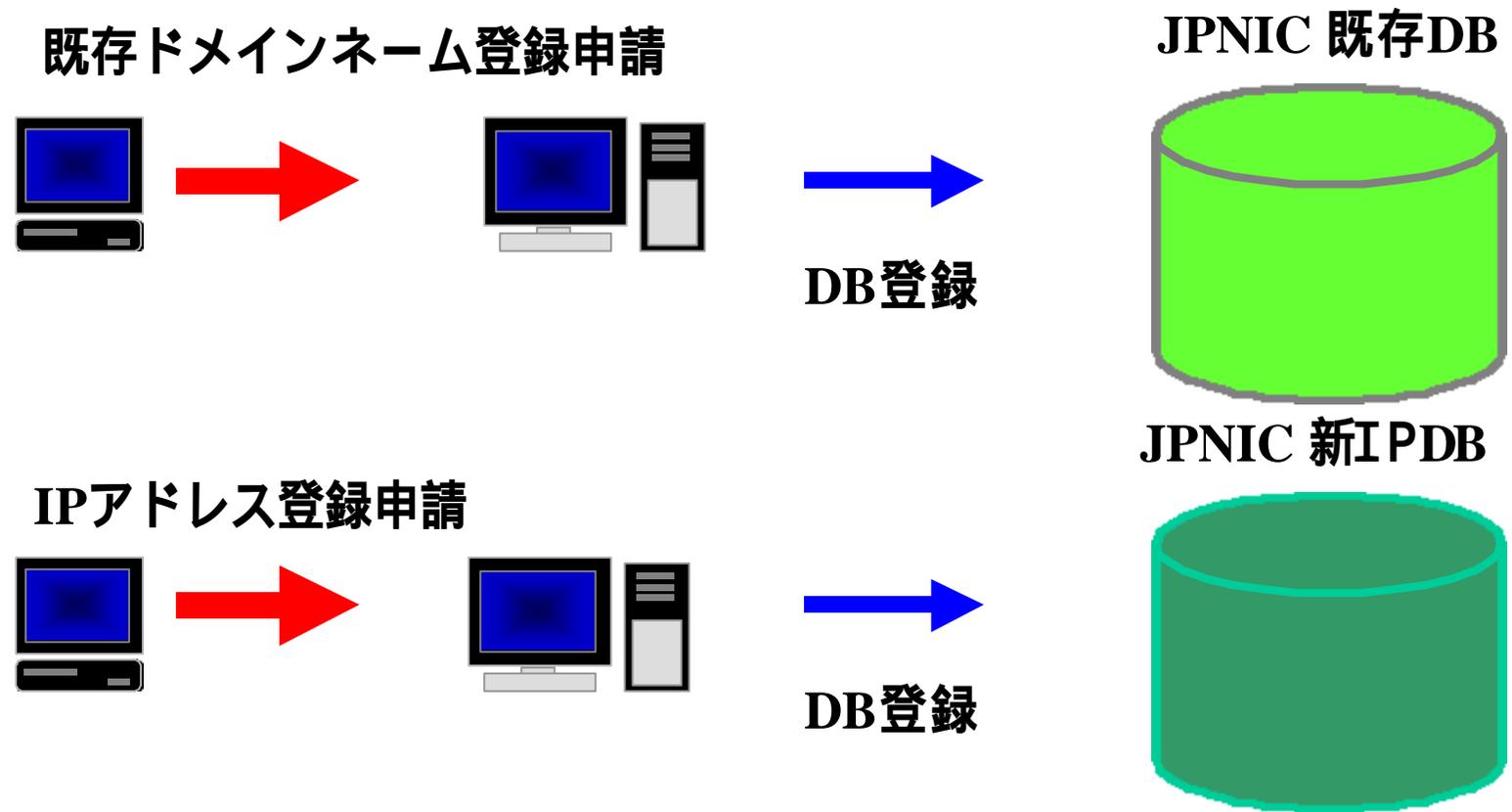
新レジストリシステムの検討を開始⁵

コスト削減を目指し、以下の3つを基本ポリシーとして、システム変更の検討を開始

1. IP指定事業者の各種申請業務の支援機能を提供する。(IP指定事業者の業務コストの削減)
2. JPNIC内部業務フローに即したシステム改善を図る。(JPNICの業務コストの削減)
3. 現システムからIP部分を分割し、独立してIPレジストリシステムを立ち上げる。(データベースの維持・運用コスト削減)

検討しているシステムの概要 (1)

IPとドメインのシステムの分離



検討しているシステムの概要(2)⁷

IP指定事業者の各種申請業務の支援機能を提供し、業務の円滑化をはかる

1. 簡便な申請フロー

1. Webインタフェースの提供

- 申請種類ごとにWebインタフェースのフォームを提供し、利便性を向上

2. トランザクション機能の提供

2. 情報提供による情報の共有化

1. 申請ステータスの提供

- 審議中、DB登録中、回答待ちなど

2. 割り当て状況確認ツールの提供

- 割り振りブロックにおける割り当て済み情報等の提供

3. セキュリティの確保

1. 認証機能の導入

- ID&Password + SSL による認証

今後のスケジュール

- 2001/11/9(金) IP指定事業者連絡会
 - 概要の説明

- 2001/11/30(金) IP指定事業者連絡会
 - 申請WEB・フォーム・フローの公開

 - 時間 : 15:00 - 18:00
 - 場所 : フォーラム8(渋谷) <http://www.forum-8.co.jp>

- 試験インターフェース開始 時期は検討中
 - インターフェースを公開してから、十分時間をおいて新システムへ切り替えを予定。皆様の準備が十分にできるようにしたい
 - 登録申請が滞るようなトラブルを避けるために、慎重な移行計画を策定
 - メール、WEBを利用しながら、逐次アナウンスを行う

Q&A

